

**【表紙】**

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年4月13日
【会社名】	株式会社ファンドクリエーショングループ
【英訳名】	Fund Creation Group Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田島 克洋
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号
【電話番号】	03-5413-5535
【事務連絡者氏名】	取締役 経営企画部長 宮本 裕司
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号
【電話番号】	03-5413-5535
【事務連絡者氏名】	取締役 経営企画部長 宮本 裕司
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集金額】	その他の者に対する割当 112,750,000円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成22年4月6日に提出した有価証券届出書について、平成22年4月13日に四半期報告書(第2期第1四半期 自平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)を提出いたしましたので、これに関連する事項を訂正するため有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 証券情報

#### 第3 第三者割当の場合の特記事項

##### 1 割当予定先の状況

### 第二部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 1 業績等の概要

(1) 経営成績に関する分析

(2) キャッシュ・フロー

##### 2 生産、受注及び販売の状況

(2) 販売実績

(3) ファンド資産残高の状況

##### 5 経営上の重要な契約等

##### 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

#### 第3 設備の状況

##### 1 設備投資等の概要

#### 第4 提出会社の状況

##### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等

発行済株式

#### 第5 経理の状況

##### 1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表等

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

(2) その他

#### 第7 提出会社の参考情報

##### 2 その他の参考情報

四半期レビュー報告書の追加

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_線で示しております。(但し、「第二部 企業情報 第5 経理の状況 1 連結財務諸表等」については\_線を省略しております。)また、四半期報告書(第2期第1四半期 自平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)に添付された四半期レビュー報告書を新たに添付いたします。

### 第一部 【証券情報】

#### 第3 【第三者割当の場合の特記事項】

##### 1 【割当予定先の状況】

(訂正前)

(前略)

いちごアセットトラストの出資者の概要は下記のとおりであります。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドE (Ichigo Japan Fund E)
	所在地		c/o Genesis Fund Services LTD., Second Floor, Compass Centre, P.O.Box 448, Grand Cayman, KY1-1106 Cayman Islands
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。
	出資額		拠出金の額 188.4億円
	組成目的		投資運用目的
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。
	業務執行組合員等に関する事項		
		名称	Ichigo Asset Management International, Pte. Ltd.
		本店の所在地	1 North Bridge Road, #06-08 High Street Centre, Singapore 179074
		国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
	代表者の役職 及 び氏名	(Director) Navaid Ejaz Farooqi	
	資本金	200,000シンガポールドル	
	事業の内容	投資運用業	
	主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (90.7%)	
b. 提出者と出資者との間の関係	出資関係	当社が保有している 割当予定先の株 式の数	該当事項はありません。
		割当予定先が保有 している当社の株 式の数	該当事項はありません。
	人事関係		該当事項はありません。
	資金関係		該当事項はありません。
	技術又は取引関係		該当事項はありません。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドJ (Ichigo Japan Fund J)	
	所在地		c/o Maples Finance Limited, PO Box 1093, Queensgate House, Grand Cayman, KY1-1102, Cayman Islands	
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。	
	出資額		拠出金の額 168.3億円	
	組成目的		投資運用目的	
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。	
	業務執行組合員等に関する事項		名称	Ichigo (Cayman) Limited
			本店の所在地	Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands
			国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
			代表者の役職 及 び氏名	(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon
		資本金	US\$2	
		事業の内容	投資運用業	
		主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (100%)	
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	当社が保有している 割当予定先の株 式の数	該当事項はありません。	
		割当予定先が保有 している当社の株 式の数	該当事項はありません。	
	人事関係		該当事項はありません。	
	資金関係		該当事項はありません。	
	技術又は取引関係		該当事項はありません。	

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドB (Ichigo Japan Fund B)
	所在地		c/o Genesis Fund Services LTD., Second Floor, Compass Centre, P.O.Box 448, Grand Cayman, KY1-1106 Cayman Islands
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。
	出資額		拠出金の額 127.9億円
	組成目的		投資運用目的
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。
	業務執行組合員等に関する事項		
		名称	Ichigo Asset Management International, Pte. Ltd.
		本店の所在地	1 North Bridge Road, #06-08 High Street Centre, Singapore 179074
		国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
	代表者の役職 及 び氏名	(Director) Navaid Ejaz Farooqi	
	資本金	200,000シンガポールドル	
	事業の内容	投資運用業	
	主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (90.7%)	
b. 提出者と出資者との間の関係	出資関係	当社が保有している 割当予定先の株 式の数	該当事項はありません。
		割当予定先が保有 している当社の株 式の数	該当事項はありません。
	人事関係		該当事項はありません。
	資金関係		該当事項はありません。
	技術又は取引関係		該当事項はありません。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドH (Ichigo Japan Fund H)	
	所在地		c/o Maples Finance Limited, PO Box 1093, Queensgate House, Grand Cayman, KY1-1102, Cayman Islands	
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。	
	出資額		拠出金の額 87.5億円	
	組成目的		投資運用目的	
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。	
	業務執行組合員等に関する事項		名称	Ichigo (Cayman) Limited
			本店の所在地	Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands
			国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
			代表者の役職 及 び氏名	(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon
		資本金	US\$2	
		事業の内容	投資運用業	
		主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (100%)	
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	当社が保有している 割当予定先の株 式の数	該当事項はありません。	
		割当予定先が保有 している当社の株 式の数	該当事項はありません。	
	人事関係		該当事項はありません。	
	資金関係		該当事項はありません。	
	技術又は取引関係		該当事項はありません。	

(訂正後)

(前略)

いちごアセットトラストの出資者の概要は下記のとおりであります。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドE (Ichigo Japan Fund E)
	所在地		c/o Genesis Fund Services LTD., Second Floor, Compass Centre, P.O.Box 448, Grand Cayman, KY1-1106 Cayman Islands
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。
	出資額		拠出金の額 188.4億円
	組成目的		投資運用目的
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。
	業務執行組合員等に関する事項		
		名称	Ichigo Asset Management International, Pte. Ltd.
		本店の所在地	1 North Bridge Road, #06-08 High Street Centre, Singapore 179074
		国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
	代表者の役職 及 び氏名	(Director) Navaid Ejaz Farooqi	
	資本金	200,000シンガポールドル	
	事業の内容	投資運用業	
	主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (90.7%)	
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	提出者が保有して いる出資者の株式 の数	該当事項はありません。
		出資者が保有して いる提出者の株式 の数	該当事項はありません。
	人事関係		該当事項はありません。
	資金関係		該当事項はありません。
	技術又は取引関係		該当事項はありません。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドJ (Ichigo Japan Fund J)	
	所在地		c/o Maples Finance Limited, PO Box 1093, Queensgate House, Grand Cayman, KY1-1102, Cayman Islands	
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。	
	出資額		拠出金の額 168.3億円	
	組成目的		投資運用目的	
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。	
	業務執行組合員等に関する事項		名称	Ichigo (Cayman) Limited
			本店の所在地	Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands
			国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
			代表者の役職 及 び氏名	(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon
		資本金	US\$2	
		事業の内容	投資運用業	
		主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (100%)	
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	提出者が保有して いる出資者の株式 の数	該当事項はありません。	
		出資者が保有して いる提出者の株式 の数	該当事項はありません。	
	人事関係		該当事項はありません。	
	資金関係		該当事項はありません。	
	技術又は取引関係		該当事項はありません。	

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドB (Ichigo Japan Fund B)
	所在地		c/o Genesis Fund Services LTD., Second Floor, Compass Centre, P.O.Box 448, Grand Cayman, KY1-1106 Cayman Islands
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。
	出資額		拠出金の額 127.9億円
	組成目的		投資運用目的
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。
	業務執行組合員等に関する事項		
		名称	Ichigo Asset Management International, Pte. Ltd.
		本店の所在地	1 North Bridge Road, #06-08 High Street Centre, Singapore 179074
		国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。
	代表者の役職 及 び氏名	(Director) Navaid Ejaz Farooqi	
	資本金	200,000シンガポールドル	
	事業の内容	投資運用業	
	主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (90.7%)	
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	提出者が保有して いる出資者の株式 の数	該当事項はありません。
		出資者が保有して いる提出者の株式 の数	該当事項はありません。
	人事関係		該当事項はありません。
	資金関係		該当事項はありません。
	技術又は取引関係		該当事項はありません。

a. 出資者の概要	名称		いちごジャパンファンドH (Ichigo Japan Fund H)														
	所在地		c/o Maples Finance Limited, PO Box 1093, Queensgate House, Grand Cayman, KY1-1102, Cayman Islands														
	国内の主たる事務所の責任者の 氏名及び連絡先		該当事項はありません。														
	出資額		拠出金の額 87.5億円														
	組成目的		投資運用目的														
	主たる出資者及びその出資比率		出資者との守秘義務のため開示できません。														
	業務執行組合員等に関する事項		<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>Ichigo (Cayman) Limited</td> </tr> <tr> <td>本店の所在地</td> <td>Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands</td> </tr> <tr> <td>国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先</td> <td>国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>代表者の役職 及 び氏名</td> <td>(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td>US\$2</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td>投資運用業</td> </tr> <tr> <td>主たる出資者及 びその出資比率</td> <td>Scott Anderberg Callon (100%)</td> </tr> </table>	名称	Ichigo (Cayman) Limited	本店の所在地	Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands	国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。	代表者の役職 及 び氏名	(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon	資本金	US\$2	事業の内容	投資運用業	主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (100%)
	名称	Ichigo (Cayman) Limited															
本店の所在地	Second Floor, Compass Centre P.O.Box 448, Grand Cayman KY1-1106 Cayman Islands																
国内の主たる事 務所の責任者の氏 名及び連絡先	国内の事務所は存在しないため該 当事項はありません。																
代表者の役職 及 び氏名	(Director) J.Paul Drake (Director) Luana Guilfoyle (Director) Mark Andrew Callon																
資本金	US\$2																
事業の内容	投資運用業																
主たる出資者及 びその出資比率	Scott Anderberg Callon (100%)																
b. 提出者と出資者との 間の関係	出資関係	提出者が保有して いる出資者の株式 の数	該当事項はありません。														
		出資者が保有して いる提出者の株式 の数	該当事項はありません。														
	人事関係		該当事項はありません。														
	資金関係		該当事項はありません。														
	技術又は取引関係		該当事項はありません。														

## 第二部【企業情報】

## 第2【事業の状況】

## 1【業績等の概要】

## (1) 経営成績に関する分析

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第1四半期連結会計期間(平成21年12月1日～平成22年2月28日)における国内経済は、政府の景気対策等により景気の持ち直しの動きも一部見受けられましたが、雇用環境や個人消費は引き続き厳しい状況となりました。

当社グループの主要事業である不動産業界では、一部のJ-REITにおいて不動産物件取得に向けた投資法人債の発行や増資等が実行されたことに加えて、これまで不動産融資に対し慎重な姿勢であった金融機関において、一部に融資再開の動きがみられる等、不動産市場の流動性は緩やかながらも回復傾向が見受けられるようになりました。

また、国内株式市場では、国内政局の動向及び為替相場の高止まり等を反映し軟調な値動きとなりました。このような状況の下、当社グループは、平成21年12月11日付で内国投資信託を運用するファンドクリエーション投信投資顧問株式会社の全株式を外部に売却し、当社グループの事業の選択と集中に向けた施策を実行いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は売上高160百万円、営業損失56百万円、経常損失56百万円、四半期純損失62百万円となりました。なお、当社は、株式会社ファンドクリエーションの株式移転により平成21年5月1日に設立されたため前期比較の記載はしていません。

## &lt;アセットマネジメント事業&gt;

当第1四半期連結会計期間におきまして、当社グループが運用するファンド運用資産残高は540億円(一部円換算US\$1.00=89.43円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は801億円(一部円換算US\$1.00=89.43円)となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー等を計上したほか、ファンド組入れ物件の売却によりディスパーザルフィーを計上いたしました。また、FCレジデンシャル投資法人の運営における運用報酬を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。その結果、アセットマネジメント事業においては、売上高102百万円、営業損失22百万円となりました。

## &lt;インベストメントバンク事業&gt;

不動産投資等部門では、当社グループが匿名組合出資を行っている特別目的会社(SPC)等が保有する不動産等からの不動産賃貸収入を計上いたしました。証券投資等部門では、株式会社FCインベストメント・アドバイザーズにおいて金融商品仲介業務による収益を計上いたしました。その結果、インベストメントバンク事業においては、売上高57百万円、営業利益18百万円となりました。

## (2) キャッシュ・フロー

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、1,048百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって減少した資金は、5百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失65百万円が計上された一方で、売上債権の減少が77百万円あったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって獲得した資金は、29百万円となりました。この要因は、子会社株式の売却による収入が22百万円及び長期貸付金の回収による収入が6百万円あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって減少した資金は、16百万円となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出9百万円及び長期借入金の返済による支出が8百万円あったことによるものであります。

なお、当社は、株式会社ファンドクリエーションの株式移転により平成21年5月1日に設立されたため前期比較の記載はしていません。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

## (2) 販売実績

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	前年同四半期比(%)
アセットマネジメント事業(百万円)	102	50.5
インベストメントバンク事業(百万円)	57	34.3
合計(百万円)	160	45.7

(注) 1. セグメント間の取引は相殺しております。

2. 前第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。当第1四半期連結会計期間における販売実績の総販売実績に対する割合が100分の10以上の相手先はありません。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	
	金額 (百万円)	割合(%)	金額 (百万円)	割合(%)
FCレジデンシャル投資法人	50	17.1	-	-

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 当社は平成21年5月1日に株式移転により設立されたため、前第1四半期連結会計期間は平成21年5月1日から平成21年7月31日であります。

## (3) ファンド資産残高の状況

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

## 外国投資信託(不動産ファンド)の運用資産残高

	前連結会計年度 (自平成21年5月1日 至平成21年11月30日)				当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
	2月 (百万円)	5月 (百万円)	8月 (百万円)	11月 (百万円)	2月 (百万円)
レジット (注)1.	-	8,455	8,384	8,132	7,334
ジェイグランド (注)2.	-	130	119	112	16
チャイナ1号 (注)3.	-	232	217	213	200
チャイナ2号 (注)4.	-	183	173	170	148
チャイナ3号 (注)5.	-	703	539	521	498
合計	-	9,704	9,434	9,150	8,198

(注)1. FCファンド-レジット不動産証券投資信託(「レジット」)は平成15年11月に運用を開始しました。

2. FCトラスト-ジェイ-グランド不動産証券投資信託(「ジェイグランド」)は平成16年12月に運用を開始しました。

3. FCチャイナトラスト-チャイナエクスプレス中国不動産ファンド1号(「チャイナ1号」)は平成16年12月に運用を開始しました。

4. FCチャイナトラスト-チャイナエクスプレス中国不動産ファンド2号(「チャイナ2号」)は平成17年2月に運用を開始しました。

5. FCチャイナトラスト-チャイナエクスプレス中国不動産ファンド3号(「チャイナ3号」)は平成17年12月に運用を開始しました。

単位型のため、募集は現在行っておりません。

## 投資法人(不動産ファンド)の運用資産残高

	前連結会計年度 (自平成21年5月1日 至平成21年11月30日)				当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
	2月 (百万円)	5月 (百万円)	8月 (百万円)	11月 (百万円)	2月 (百万円)
FCレジデンシャル投資法人 (注)	-	14,928	14,928	14,928	14,928
合計	-	14,928	14,928	14,928	14,928

(注)運用資産残高は、FCレジデンシャル投資法人における投資主から払込を受けた出資総額を計上しております。

## 外国投資信託(証券ファンド)の運用資産残高

	前連結会計年度 (自平成21年5月1日 至平成21年11月30日)				当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
	2月 (百万円)	5月 (百万円)	8月 (百万円)	11月 (百万円)	2月 (百万円)
上場期待日本株 (注)1.	-	495	452	420	312
好配当利回り中国株 (注)2.	-	10,483	12,513	11,892	12,760
アジア中小型株 (注)3.16.	-	516	502	443	410
中国A株2号 (注)4.16.	-	552	518	505	399
中国A株3号 (注)5.16.	-	1,869	2,164	2,128	1,738
上場期待中国株A (注)6.16.	-	513	543	590	620
上場期待中国株B (注)7.16.	-	2,447	2,348	2,234	2,184
ベトナム (注)8.16.	-	4,754	5,596	4,927	4,937
タイ (注)9.16.	-	1,455	1,552	1,697	1,675
フィリピン (注)10.16.	-	384	387	387	375
中国ナンバーワン (注)11.16.	-	2,916	2,602	2,374	2,170
インドネシア (注)12.16.	-	942	1,013	916	928
中国国策 (注)13.16.	-	932	788	666	567
アジア資源株 (注)14.16.	-	955	638	476	317
コモディティ (注)15.16.	-	735	599	503	438
私募投資信託	-	1,644	1,480	1,243	1,100
合計	-	31,598	33,702	31,406	30,937

- (注) 1. FC J - トラスト - 上場期待日本株ファンド(「上場期待日本株」)は平成17年4月に運用を開始しました。
2. FC Tトラスト - 大福 - アイザワ 好配当利回り中国株ファンド(「好配当利回り中国株」)は平成17年10月に運用を開始しました。
3. フェイム - アイザワ アジア中小型株ファンド(「アジア中小型株」)は平成16年2月に運用を開始しました。
4. 申銀萬國・アイザワ中国A株ファンド2号(「中国A株2号」)は平成16年9月に運用を開始しました。
5. 申銀萬國・アイザワ中国A株ファンド3号(「中国A株3号」)は平成19年4月に運用を開始しました。
6. FC C - 申銀萬國・アイザワ 上場期待中国株ファンド(クラスA受益証券)(「上場期待中国株A」)は平成17年7月に運用を開始しました。(平成20年12月1日よりFC C 上場期待中国株ファンド(クラスA受益証券)に名称を変更いたしました。)
7. FC C - 申銀萬國・アイザワ 上場期待中国株ファンド(クラスB受益証券)(「上場期待中国株B」)は平成19年2月に運用を開始しました。(平成20年12月1日よりFC C 上場期待中国株ファンド(クラスB受益証券)に名称を変更いたしました。)
8. フェイム - アイザワ トラスト ベトナムファンド(「ベトナム」)は平成18年9月に運用を開始しました。
9. フィリップ - アイザワ トラスト タイファンド(「タイ」)は平成19年1月に運用を開始しました。
10. MFMCP - アイザワ トラスト フィリピンファンド(「フィリピン」)は平成19年5月に運用を開始しました。
11. FC T トラスト - 大福 - アイザワ 中国ナンバーワンファンド(「中国ナンバーワン」)は平成19年6月に運用を開始しました。
12. フィリップ - アイザワ トラスト インドネシアファンド(「インドネシア」)は平成20年1月に運用を開始しました。
13. FC T トラスト - 大福 - アイザワ 中国国策ファンド(「中国国策」)は平成20年5月に運用を開始しました。
14. FC Sトラスト - 申銀萬國 アジア資源株ファンド(「アジア資源株」)は平成20年6月に運用を開始しました。(平成20年12月1日よりFC Sトラスト アジア資源株ファンドに名称を変更いたしました。)
15. FC Sトラスト - プラザコモディティファンド - [ロジャーズ国際商品指数<sup>®</sup>](「コモディティ」)は平成20年9月に運用を開始しました。
16. 運用資産が米ドル建てで算出されているファンド(アジア中小型株、中国A株2号、中国A株3号、上場期待中国株A、上場期待中国株B、ベトナム、タイ、フィリピン、中国ナンバーワン、インドネシア、中国国策、アジア資源株、コモディティ)は月末の為替レート(TTM)を使用しております。

平成21年5月	平成21年8月	平成21年11月	平成22年2月
96.48円	92.74円	86.81円	89.43円

(4) アセットマネジメント事業に関する報酬

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

アキュジションフィー、デスポーザルフィー等

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
25百万円

アセットマネジメントフィー等

当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
77百万円

## 5 経営上の重要な契約等

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。なお、当第1四半期連結会計期間末後にいちごアセットトラストと業務提携契約を締結しております。詳細は『第5 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表』の重要な後発事象を参照してください。

## 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

(6) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

当社グループは、前連結会計年度(平成21年5月1日～平成21年11月30日)におきまして、営業損失173百万円、当期純損失437百万円を計上しました。また、当第1四半期連結会計期間におきましても、ファンド運用資産残高及び不動産受託資産残高の減少によるファンド運用管理報酬やアセットマネジメント報酬などの収入減少の影響により、営業損失56百万円、経常損失56百万円、四半期純損失62百万円となり、継続的な損失が発生しております。

今後、アセットマネジメント事業を中心とした資産運用ビジネスに注力し、アセットマネジメント事業における固定収益によって固定費用を賄えるように、ファンド運用資産残高及び不動産等の受託資産残高の増加に努めてまいります。また、当第1四半期連結会計期間中に弁済期限が到来した金融機関からの借入金につきましては、金融機関のご理解のもとその弁済期限を延長しております。

今後、弁済期限が到来するものにつきましても、同様に弁済期限の延長を要請していく方針であります。

## 第3 【設備の状況】

## 1 【設備投資等の概要】

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

## 1 【株式等の状況】

## (1) 【株式の総数等】

## 【発行済株式】

(訂正前)

種類	発行数(株) (平成22年2月28日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	33,588,800	ジャスダック証券取引所 -	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	33,588,800	-	-

(訂正後)

種類	発行数(株) (平成22年2月28日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	33,588,800	大阪証券取引所( JASDAQ市場 )	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	33,588,800	-	-

## 第5 【経理の状況】

(訂正前)

## 1. 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号、以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。
- (2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。
- (3) 当社は、平成21年5月1日に設立されたため、前年同期との対比は行っておりません。

## 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、最近連結会計年度(平成21年5月1日から平成21年11月30日までを指し、以下「当連結会計年度」といいます。)の連結財務諸表及び最近事業年度(平成21年5月1日から平成21年11月30日までを指し、以下「当事業年度」といいます。)の財務諸表について清和監査法人により監査を受けております。

なお、当連結会計年度及び当事業年度の監査報告書については、平成22年2月25日に提出した有価証券報告書に添付されたものを利用しております。

(訂正後)

1. 連結財務諸表及び四半期連結財務諸表並びに財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号、以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。
- (2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。
- (3) 当社は、平成21年5月1日に設立されたため、前年同期との対比は行っておりません。
- (4) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年 内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

## 2. 監査証明について

(1) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、最近連結会計年度(平成21年5月1日から平成21年11月30日までを指し、以下「当連結会計年度」といいます。)の連結財務諸表及び最近事業年度(平成21年5月1日から平成21年11月30日までを指し、以下「当事業年度」といいます。)の財務諸表について清和監査法人により監査を受けております。

なお、当連結会計年度及び当事業年度の監査報告書については、平成22年2月25日に提出した有価証券報告書に添付されたものを利用しております。

(2) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期レビュー報告書については、平成22年4月13日に提出した四半期報告書に添付されたものを利用しております。

## 1 【連結財務諸表】

## (1) 【連結財務諸表等】

## 【連結貸借対照表】

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

## 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成22年2月28日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2 1,248
売掛金	90
有価証券	17
営業投資有価証券	47
販売用不動産	2 2,287
仕掛販売用不動産	2 5,405
その他	45
流動資産合計	9,143
固定資産	
有形固定資産	1 46
無形固定資産	4
投資その他の資産	
投資有価証券	369
その他	857
貸倒引当金	664
投資その他の資産合計	562
固定資産合計	613
資産合計	9,756
負債の部	
流動負債	
短期借入金	2 1,169
1年内返済予定の長期借入金	2 5,728
未払金	21
未払法人税等	3
賞与引当金	-
その他	31
流動負債合計	6,954
固定負債	
新株予約権付社債	400
長期借入金	3
長期未払金	1,188
その他	68
固定負債合計	1,659
負債合計	8,614

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成22年2月28日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	478
利益剰余金	369
自己株式	15
株主資本合計	1,093
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	36
為替換算調整勘定	1
評価・換算差額等合計	34
少数株主持分	14
純資産合計	1,142
負債純資産合計	9,756

## 【連結損益計算書】

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	160
売上原価	37
売上総利益	122
販売費及び一般管理費	178
営業損失( )	56
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	12
有価証券運用益	7
受取家賃	4
その他	2
営業外収益合計	27
営業外費用	
支払利息	27
その他	1
営業外費用合計	28
経常損失( )	56
特別利益	
事業構造改善引当金戻入額	-
その他	-
特別利益合計	-
特別損失	
固定資産除却損	-
貸倒引当金繰入額	0
関係会社株式売却損	8
その他	-
特別損失合計	9
税金等調整前四半期純損失( )	65
法人税、住民税及び事業税	1
過年度法人税等戻入額	7
法人税等調整額	2
法人税等合計	3
少数株主利益又は少数株主損失( )	0
四半期純損失( )	62

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

## 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自平成21年12月1日  
 至平成22年2月28日)

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失( )	65
減価償却費	12
貸倒引当金の増減額( は減少)	0
賞与引当金の増減額( は減少)	1
事業構造改善引当金の増減額( は減少)	-
受取利息及び受取配当金	12
支払利息	27
為替差損益( は益)	1
関係会社株式売却損益( は益)	8
固定資産除却損	-
売上債権の増減額( は増加)	77
有価証券の増減額( は増加)	1
営業投資有価証券の増減額( は増加)	-
たな卸資産の増減額( は増加)	0
前払費用の増減額( は増加)	0
未収入金の増減額( は増加)	3
未払消費税等の増減額( は減少)	8
未払金の増減額( は減少)	2
その他	0
小計	37
利息及び配当金の受取額	12
利息の支払額	24
法人税等の支払額	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	5

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2 22
短期貸付金の回収による収入	-
長期貸付金の回収による収入	6
差入保証金の回収による収入	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	29

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出	9
長期借入金の返済による支出	8
新株予約権付社債の発行による収入	-
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	16

## 現金及び現金同等物に係る換算差額

現金及び現金同等物の増減額( は減少)	6
現金及び現金同等物の期首残高	1,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,048

## 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

(訂正前)

(省略)

(訂正後)

(省略)

## 【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 ファンドクリエーション投信投資顧問株式会社は、当第1四半期連結会計期間において株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。  (2) 変更後の連結子会社の数 11社

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	
1. 有形固定資産の減価償却累計額は、43百万円であります。	
2. 担保資産及び担保付債務	
担保に供している資産は次のとおりであります。	
現金及び預金	200百万円
販売用不動産	2,287百万円
仕掛販売用不動産	5,405百万円
担保付債務は次のとおりであります。	
短期借入金	1,169百万円
1年内返済予定の長期借入金	5,701百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	
1. 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与手当	60百万円
地代家賃	26百万円
支払手数料	17百万円
2. 関係会社株式売却損の内容は次のとおりであります。	
ファンドクリエーション投信投資顧問(株)	8百万円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
(平成22年2月28日現在)	
現金及び預金勘定	1,248百万円
担保差入定期預金	200
<u>現金及び現金同等物</u>	<u>1,048百万円</u>
2. 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳	
流動資産	97百万円
固定資産	2
流動負債	27
<u>売却による損失</u>	<u>8</u>
ファンドクリエーション投信投資顧問㈱の売却価額	63
ファンドクリエーション投信投資顧問㈱の現金及び現金同等物	40
<u>差引：ファンドクリエーション投信投資顧問㈱の売却による収入</u>	<u>22</u>

## (セグメント情報)

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

	アセット マネジメ ント事業 (百万円)	インベストメント バンク事業		計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
		不動産投 資等部門 (百万円)	証券投資 等部門 (百万円)			
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	102	48	8	160	0	160
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	-	-	6	6	-
計	109	48	8	167	6	160
営業利益(又は営業損失( ))	22	19	0	4	52	56

## (注) 1. 事業区分の方法

事業は主たる業務内容を考慮して区分しております。

## 2. 各区分に属する主要な役務提供等

アセットマネジメント事業・・・不動産ファンド、証券ファンドに関わるアセットマネジメント、投資顧問業

## インベストメントバンク事業

不動産投資等部門・・・不動産開発型SPC、不動産等所有SPCに対する匿名組合出資及び不動産等の売却等

証券投資等部門・・・企業投資、金融商品仲介業等

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年2月28日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当連結会計年度の期首残高に比べて著しい変動が認められます。

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
(1) 株式	34	39	4
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	-	-	-
(3) その他	223	285	61
合計	258	324	66

## ( 1 株当たり情報 )

## 1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 2 月28日)	
1 株当たり純資産額	33.87円

## 2 . 1 株当たり四半期純損失金額

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年12月 1 日 至 平成22年 2 月28日)	
1 株当たり四半期純損失金額	1.87円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの 1 株当たり四半期純損失を計上しているため記載しておりません。	

(注) 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年12月 1 日 至 平成22年 2 月28日)
1 株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(百万円)	62
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	62
期中平均株式数(株)	33,311,300
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

## (重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間  
(自平成21年12月1日  
至平成22年2月28日)

当社は、平成22年4月6日開催の臨時取締役会において、いちごアセットトラストとの資本・業務提携に伴い、いちごアセットトラストに対する第三者割当による新株式の発行決議と平成21年7月31日付で当社代表取締役田島克洋に対し発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部を当社代表取締役田島克洋よりいちごアセットトラストが譲り受けることができる権利を有償にて付与することを承認いたしました。

## 1. 第三者割当による新株式発行の内容

- (1) 発行期日 平成22年5月12日  
(2) 発行新株式数 普通株式2,050,000株  
(3) 発行価額 1株につき55円  
(4) 発行価額の総額 112,750,000円  
(5) 資金組入額 1株につき27.5円  
(6) 資金組入額の総額 56,375,000円  
(7) 割当先 いちごアセットトラスト  
(8) 資金使途 運転資金に充当

## 2. 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を譲り受ける権利の有償付与の内容

当社グループといちごアセットトラストとは資本・業務提携関係をより強固なものとするべく、当社代表取締役田島克洋より、本新株予約権付社債の一部(額面金額2億円相当)をいちごアセットトラストが、平成22年5月6日から転換請求期間満了日である平成24年7月30日までに譲り受けることができる権利を有償にて付与するものであります。

## (2)【その他】

(訂正前)

## 最近連結会計年度における四半期情報

	第1四半期 自平成21年12月1日 至平成22年2月28日
売上高(百万円)	160

(訂正後)

当社は、平成22年4月13日付で四半期報告書を提出しておりますので該当事項はありません。

第7 【提出会社の参考情報】

2 【その他の参考情報】

（訂正前）

最近事業年度の開始日（平成21年5月1日）から本有価証券届出書提出日（平成22年4月6日）までの間に、次の書類を提出しております。

（1）有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書  
事業年度（第1期）（自平成21年5月1日至平成21年11月30日）平成22年2月25日関東財務局長に提出

（2）有価証券報告書の訂正報告書及び確認書  
平成22年2月25日提出の有価証券報告書に係る訂正報告書及び確認書であります。平成22年4月5日関東財務局長に提出

（3）内部統制報告書  
平成22年2月25日関東財務局長に提出

（4）四半期報告書及び確認書  
第1期第1四半期（自平成21年5月1日至平成21年7月31日）平成21年9月14日関東財務局長に提出

（5）臨時報告書  
金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号の規定に基づく臨時報告書であります。平成21年12月11日関東財務局長に提出

金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号の規定に基づく臨時報告書であります。平成21年12月21日関東財務局長に提出

（6）有価証券届出書及びその添付書類  
平成21年7月13日関東財務局長に提出

（訂正後）

最近事業年度の開始日（平成21年12月1日）から本訂正有価証券届出書提出日（平成22年4月13日）までの間に、次の書類を提出しております。

（1）有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書  
事業年度（第1期）（自平成21年5月1日至平成21年11月30日）平成22年2月25日関東財務局長に提出

（2）有価証券報告書の訂正報告書及び確認書  
平成22年2月25日提出の有価証券報告書に係る訂正報告書及び確認書であります。平成22年4月5日関東財務局長に提出

（3）内部統制報告書  
平成22年2月25日関東財務局長に提出

（4）四半期報告書及び確認書  
第2期第1四半期（自平成21年12月1日至平成22年2月28日）平成22年4月13日関東財務局長に提出

（5）有価証券届出書及びその添付書類  
平成22年4月6日関東財務局長に提出

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 4月12日

株式会社ファンドクリエーショングループ  
取締役会 御中

清 和 監 査 法 人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川田 増三 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 大塚 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ファンドクリエーショングループの平成21年12月1日から平成22年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ファンドクリエーショングループ及び連結子会社の平成22年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成22年4月6日開催の臨時取締役会において、第三者割当による新株式の発行及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部を譲り受ける権利の付与について承認する決議をしている。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。